

記載例

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書		報告書は4部提出する (うち1部は事業者控えとしてお返しします。)	
国土交通大臣 国土 太郎 殿		自動車の使用者の氏名又は名称 ○○株式会社	
報告書提出日現在の国土交通大臣の氏名を記		住所 北海道○○市○○町○丁目○番○号	
電話番号 ○○○-○○○-○○○		事故発生から30日以内に提出する。	
平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 提出		時間は24時間制で記入する。	
☆発生日時	平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 ○○ 時 ○○ 分	☆路線名又は道路名	<ul style="list-style-type: none"> ・道路名は、国道、道道、市道など具体的に記入する。 ・高速道路等の場合はその名称を記入する。 ・高速道路の場合は「上り線」、「下り線」の区分を記入する。
天 候	① 晴れ 2 曇 3 雨 4 雪 5 霧 6 その他		
☆発生場所	北海 都道 札幌 区市 北 区町村 ○丁目○番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号又は車両番号	
○○株式会社 ○○営業所 北海道○○市○○町○丁目○番○号		札幌 ○○ あ ○○○○	
営業所名まで記載する。		トレーラーの場合は、けん引車と被けん引車の両方を記載する。	
☆当時の状況			
<p>当該運転者○○ ○○は○月○日午後○時に出社し、日常点検実施後に乗務前点呼を午後○時○分、荷主の○○に向け出庫した。午後○時に○○に到着し荷物を積み込み、午後9時に○○市に向け出発。その後、上記場所付近の国道○○号線を時速約70キロで走行中、赤信号で停車していた乗用車に気付くのが遅れ、慌ててブレーキを踏んだが間に合わずに追突し、相手の乗用車の運転者に重傷を負わせた。</p> <p>相手方運転者 ○○ ○○ (○○歳・女性) 右大腿骨骨折 2ヶ月入院 当該運転者 ○○ ○○ (○○歳・男性) 頭部打撲 2週間通院治療</p>			
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること）			
		<ul style="list-style-type: none"> ・次に掲げるものを(何処で、誰が、どんな事を、どれだけの要領で)出来る限り詳細に記載する。 イ. 出発地、出発時刻、目的地 ロ. 運行の状況、乗車人員、積載物・量 ハ. 事故当時の速度、位置関係、乗務員のとった措置、事故後の状況、地形、道路状況、スリップの軌跡 ニ. 死傷者の氏名、性別、年齢、負傷者の程度(当事者と相手側とを分ける) 	
☆当時の処置		事故現場の見取り図を分かり易く記載して下さい。	
<p>当該運転者はハザードランプを点けて降車した後、乗用車の運転者が怪我を負っている事を確認したため、至急、消防と警察に連絡をし、二次被害を防ぐ為に発煙筒を吹き後続車へ注意をうながした。その後、被害者は病院に搬送され、当該運転者は警察の取り調べを受ける為に○○署へ移動した。</p>		警察、会社等への連絡、死者又は負傷者にとった処置、病院への収容状況、旅客、積荷等の処置を記入する。	
☆事故の原因		脇見運転により前方の停止車両の発見が遅れた事とスピードの超過	
☆再発防止策		乗務員全員を集め、当該事故について周知徹底するとともに、停止車両を発見し場合には早めのブレーキを心がけ、速度違反についても法令遵守するよう指導を行った。	
※備考		警察の調査、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入する。	
		事業者として講じた再発防止策を具体的に記入。	

衝突事故時のみ記入する。
 「正面衝突」...自動車同士が相手方と対面して接近し、衝突又は接触した場合
 「側面衝突」...自動車同士が相手方と対面方向又は対面以外の方向に進行して衝突又は接触した場合
 「追突」...自動車同士が相手方と同方向に進行して衝突又は接触した場合で次の接触以外の場合
 「接触」...自動車同士が相手方と並進中又は後続車が先行車を追いつき、もしくは並進しようとして接触した場合

「衝突」
 ・自動車又は原付と衝突・接触し当該車両に乗っている者を死傷させた場合
 ・家屋その他の物件と「衝突」し、付近にいた人を死傷させた場合

「死傷」
 ・歩行者又は自転車等を死傷した場合
 ・走行中の車両への飛び乗り又は飛び降り等によって死傷した場合

発生した事故の種類を区分番号にをす。
 (2種類以上の事故の場合は、もっとも大きな被害を発生した事故の種類とする。飲酒等・教護違反の場合には両方記載。)

2種類以上発生した場合は、その発生順に従い数字を記入する。

その他の場所とは、構内や営業所等の一般交通の用に供しない場所

路肩部分を含む道路(車道と歩道の区別がある場合は、車道)の総幅員を記入する
 歩道は含まない

貸切旅客の場合は、運送契約の相手方氏名・名称、住所、旅行業法の旅行業者の場合は、その番号を記入する。

(裏)																
事故の発生順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	転覆	転落	路外逸脱	火災	踏切	衝突	死傷	危険物	車内	飲酒	健康	教護	車両	交通	その他	
	発生した事故の種類を区分番号にをす。 (2種類以上の事故の場合は、もっとも大きな被害を発生した事故の種類とする。飲酒等・教護違反の場合には両方記載。)															
	発生順															
	転落の状態	落差	m													
	衝突等の状態	1 正面衝突 4 接触	2 側面衝突 5 物件衝突	3 追突												
	車名	型式	車体の形状	初度登録年又は初度検査年												
		ABC-DFG123	バン	平成22年												
	事業用	1 乗合旅客 2 貸切旅客 3 乗用旅客 4 特定旅客 5 一般貨物(イ特別積合せ貨物) 6 その他 6 特定貨物 7 特定第二種														
	自家用	1 有償貸渡(レンタカー) 2 有償旅客運送 3 その他														
	種別	1 普通 2 小型 3 その他														
	乗車定員	2 人		当時の乗車人員 1 人												
	最大積載量	当時の積載量														
		4,000 kg		3,000 kg												
	kg			kg												
許可等の必要性	制限外許可	1 有 2 無														
	特殊車両通行許可	1 有 2 無														
	保安基準の緩和	1 有 2 無														
許可等の取得状況	制限外許可	1 有 2 無														
	特殊車両通行許可	1 有 2 無														
	保安基準の緩和	1 有 2 無														
貨物の内容	1 土砂等 2 長大物品等 3 コンテナ 4 生コンクリート 5 危険物等 6 冷凍、冷蔵品 7 原木、製材 8 引越 9 その他															
種別	1 有 2 無															
種類	1 危険物 2 火薬類 3 高圧ガス 4 核 5 RI 6 毒劇物 7 可燃物															
品名及び積載量又は放射能の量	品名 () kg、l () Bq															
イテロガードの携行状況	1 有 2 無															
種類	1 道路(イ高速自動車国道 口自動車専用道路等) 2 その他(場所)															
道路の幅員	1.2 m															
こう配	1 平たん 2 上り 3 下り															
道路の形態	1 直線 2 右曲り 3 左曲り 4 交差 5 つづら折り															
路面の状態	1 乾 2 溼 3 積雪 4 氷結															
警戒標識の設置	1 有 2 無 当該道路の制限速度 6.0 km/h															
踏切の状態	1 遮断機付き 2 警報機付き 3 その他															
当分の運行計画	(発地・経由地・着地)															
運送契約の相手方氏名・名称、住所、旅行業法の旅行業者の場合は、その番号を記入する。	時 分に 営業所を出庫、時 分に 市で積荷を積込み 町を 経由、時 分 市で荷物をおろし、時 分 営業所に帰庫															
安全性優良事業所の認定(貨物のみ)	1 有 2 無															
運送形態	1 下請運送 2 その他															
送受人の氏名又は名称及び住所	株式会社 市区 丁目 番地															
受取人の氏名又は名称及び住所	株式会社 市区 丁目 番地															
危険認知時の速度	7.0 km/h															
危険認知時の距離	2.0 m															
スリップ距離	1.0 m															
当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進(加速) 2 直進(減速) 3 直進(定速) 4 後退 5 右越 6 右折 7 左折 8 駐車 9 停車 10 転回 11 合流 12 その他															
道路上での事故の場合には事故発生地点	1 車道 2 歩道 3 横断歩道 4 路側帯 5 路肩 6 交差点 7 バス停留所 8 トンネル 9 その他															
死傷事故の場合には死傷者の状態	1 左側通行 2 右側通行 3 信号無視 4 車道通行 5 歩道通行 6 横断歩道歩行 7 車の直前横断 8 斜横断 9 飛び出し 10 脇道 11 路上作業 12 路上遊戯 13 乗降中 14 安全地帯 15 自転車運転 16 その他															
車両の故障に起因する場合には故障箇所	1 原動機(速度抑制装置を除く) 2 速度抑制装置 3 動力伝達装置 4 車輪(タイヤを除く) 5 タイヤ 6 車軸 7 操縦装置 8 制動装置 9 駆動装置 10 燃料装置 11 電気装置 12 車枠及び車体 13 連結装置 14 乗車装置 15 物品積載装置 16 窓ガラス 17 騒音防止装置 18 排気管等の騒音防止装置 19 灯火装置及び指示装置 20 反射鏡 21 警音器 22 視界を確保する装置(後写鏡、窓ふき器等) 23 計器(速度計、走行距離計等) 24 消火器 25 圧容容器及びその附属装置 26 運行記録 27 その他															
氏名	氏名															
年齢	年齢															
経年数	経年数															
本務・臨時の別	1 本務 2 臨時															
自動車運転を職業とする者	事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数 乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離															
勤務状況	最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離 勤務日数 日 乗務距離 km															
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷															
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備															
交替運転者の配置	1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 2 無 時間 km															
過去3年間の事故状況	(過去3年間の事故件数) 0 件 (最近の事故年月日) 年 月 日															
過去3年間の道路交通法の違反状況	(過去3年間の違反件数) 1 件 (最近の違反年月日) 平成 年 月 日															
過去3年間の適性診断の受診状況	1 有 (最近の受診年月日) 平成 年 月 日 2 無 (適性診断受診場所) 自動車事故対策機構 札幌															
最近の健康診断の受診年月日	平成 年 月 日															
本務・臨時の別	1 本務 2 臨時															
損害の程度	1 死亡 2 重傷 3 軽傷															
シートベルトの着用状況	1 着用 2 非着用 3 非装備															
運行管理者	氏名															
運行管理者資格者証番号	北札貨物第 号 北札貨物第 号															
損害の程度	死亡 人(うち乗客 人) 重傷 1(うち乗客 人) 軽傷 1(うち乗客 人)															
事業者番号	再発防止対策															
再発防止対策	原則、医師の診断結果に基づき記入する。															

(留意事項)

- ・ 記入の必要がない欄には斜線を引くこと。
- ・ 印欄は、具体的に記入すること。
- ・ 印欄は、記入をしないうこと。
- ・ 印欄は、車両故障のみの場合は記入不要です。
- ・ 健康状態に起因する事故の場合、〔別表2〕に掲げる調査事項を調査の上、提出すること。
- ・ 車両故障に起因する事故の場合、〔別表3〕に掲げる調査事項を調査の上、提出すること。